

No.	5	
コード	RT02-a	
開講形式	リモート	
区分	養蜂学	
科目	養蜂技術の発達史	
講師	中村純	
背景	現在、世界中で行われている養蜂の基本スタイルは 178 世紀に発達した近代用を基礎としている。	
目的	現在普及している養蜂技術（近代養蜂）が成立してきた背景と先人の着眼を理解し、ミツバチを飼養する技術の基礎を学ぶ。	
概要	近代養蜂は 18 世紀に欧米を中心として発達した技術体系である。各国に、多くの場合ミツバチとともに導入され、各国それぞれの様式に落ち着いている。体系が成立した背景を知り、日本の技術体系と現在の養蜂の在り方について学ぶ。	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・主要な近代養蜂技術の発明を学び、根底にある科学的根拠を説明できる。 ・技術の背景にある科学を学ぶことで、理論的に技術を理解できる。 	
講義内容	ビー・スペースの発見と可動枠式巣箱 巣礎の利用と巣板の再利用 採蜜用遠心分離器の発明 燻煙器 女王蜂養成技術 その他の具の発明 近代養蜂の功罪 日本の養蜂の基礎になっている移動養蜂	
参考資料	「ミツバチの教科書」	

